



たもんじ 交流農園

2020年1月号

便い Vol.22



たもんじ交流農園の2019年を振り返って 高木理事長



令和になって最初のお正月おめでとうございます。たもんじ交流農園は雑草採りから始めた2017年夏のプロジェクト開始から考えると東京オリンピック・パラリンピックが開かれる頃には4年目を迎えることになり、感慨深いものがあります。ごく簡単に昨年2019年の行事の一端を振り返ってみよう。

ちょうど1年前の1月頃は、まだ第二期開墾作業中でまだ4列目を掘っていた。3月に間に合わすべく、土入れ、池づくり、芝生張りまでみんなで力を合わせた。そして3月、「第二期農園開園式&ピザ焼きパーティー」が開催され、山本区長のご挨拶もあり盛大にお祝いした。この地域で稀な「のらぼうな」も収穫した。4月からアドバイザーの水口さんに来てもらうことになり、5月の寺島なすを植えるイベントで、早速講演(苗の植え方等)頂いた。ビオトープの整備もした。また八街市での農業体験(プロの技術を学ぶ)を行った。6月は寺島なすの剪定と追肥イベントを開催、7月開催予定の寺島なすの収穫祭は台風で8月に延期となったが、晴天に恵まれ大変にぎわった。8月には大玉村との交流会も実施した。9月には大竹氏(江戸東京・伝統野菜研究会代表)の情報より、江戸東京野菜を「日本遺産」という練馬区の会議に参加した。11月の秋の収穫祭では120名もの来場者があり大いに賑わった。12月には初めて農園会員懇談会を実施した。また、話は前後するがGWの恒例の寺島なすの苗の販売や、墨田区やセブンイレブン記念財団からの補助金獲得により、様々な方にたもんじ交流農園を知ってもらうことができた。

こうして、たもんじ交流農園の存在が徐々に認知され、その意義も着実に高まってきた。たもんじ交流農園は2020年もその先も、必ずや多くの方に親しまれ愛される農園となっていくであろうと確信している。

他方、今まで非課税であった土地に固定資産税が課せられた。我々は公共的農園の運営をしているので、減税措置を要求したが、課税のままである。この解決策が最大の課題である。

うちの畑じまん 第16回 小林佳香さん一家

小林佳香と申します。私の希望で夫と子供小学6年生、4年生、2年生、4歳の4人とこの春からはじめました。

最初に主人に言われた目標は、「欲張らないこと！」子供たちとあれもこれもやりやいと思う気持ちを抑えながらやっています。

この夏は、大根、寺島ナス、オクラを中心にちょっと空いてきたところに、水菜、山東菜、小松菜、リーフレタスを始めました。大根は4人の子供たちが1本ずつ収穫できるように…と4本いっぺんに収穫したため消化するのに大変



でした。寺島ナスは本当によく取れているんなナス料理を。夏の初めにミニひまわりも育てて子供達と楽しみました。どの野菜も我が子のようにかわいく、何より子供達が収穫を楽しみ美味しく頂いています。

そろそろ収穫も少なく飽きてきた子供達で、それでも付いてきてくれる6年生は芝生で読書を4年生以下は芝生で遊んだり2年生以下は虫取にも夢中、農園では嫌われものの青虫を持って帰って育てたり池のヤゴを発見したり、とかげを捕まえたり。思い思いのスタイルで農園を満喫しております。虫を見つけたときは是非我が子にお声を！

いっしょにたもんじ農園を楽しんでいる皆さん、これからも宜しくお願い致します。

新・農園のお隣さんご紹介

① 自己紹介、②育ててみたい野菜、③希望するイベントや講演会、④農園にかける想い等

区画 11-1

吉成 隆さん 和田 耕治さん



① 区内の八広で金属加工業をしております。祖父が福島県の農家です。植物をはじめ、生き物は好きですが、育て方はヘタクソです。自転車いじり、テニスをやります。
 ② まったくの初心者なので、友人や先輩の助言、指導にしがって、やさしい作物から育てたいと思います。
 ③ 今のところ不明です。とりあえず仲間に加わり、作物を育てながら考えたいと思います。



④ 母より戦時中の話を聞いておる世代です。作物を育てる土地や時間を有することは幸せなことです。仲間と共にこり固まった心まで耕せたらいいなと思います。

区画 1-1②

岡崎公彦さん 戸田竜也さん



① 向島5丁目でクリニックを開業して7年になります。障害のある方への支援を通じて地域づくりに携わっていきたくと考えています。
 ② 初心者ですので作りやすいものから始めたいと考えています。江戸野菜づくりにも挑戦したいです。
 ③ 江戸野菜の話などが聞いてみたいです。



④ 今回ご縁があり最後の1区画をお借りできることとなりました。農業はまったくの素人ですが、みなさんに教えていただきながら、ゆくゆくは当院の利用者さんとも作る喜びを分かちあえるようになればいいと考えています。どうぞよろしくお願いします。

おかげ様で目標達成!!!ふるさと納税クラウドファンディング!!



手作り、「まちなか農園」を創設し、野菜作りを通して交流の輪を広げ、墨田区を元気にする場
 東京都墨田区
 1,715,000円

ふるさと納税を活用したクラウドファンディング「たもんじ交流農園」から区民の交流を広げたい(12/31 締切)は、皆様の応援のおかげ様をもちまして、目標額150万円を大きく上回る171.5万円を達成させて頂きました。感謝の念に堪えません。と同時に3/29のグランドオープンに向け皆様の納得できる農園をつくるべく心新たに気を引き締めている次第です。応援頂いた皆様、本当に有難うございました。頂きました補助金については、当初計画通り①物置小屋増設、②入口ゲートの作成(右図ご参照)、③区画間の道の舗装、④花壇、⑤駐輪場に加え、⑥炊事場、⑦ブドウだなの新設等々を計画しております。しかしながら人手が足りません。どうかお力をお貸し願います!



入口ゲートのイメージ (牛久さん画)

【物置小屋造り・間道舗装・花壇ワーク】候補日(雨天順延)

1/19(日)・1/25(土)・1/26(日)・2/8(土)・9(日)・22(土)・23(日)・29(土)

【ぶどうの木植樹ワーク】1/26(日)、【藍染柿渋ワーク】2/23(日)

1/26(日)水口アドバイザーの「年間作付け計画・土作りの重要性」のお話

美味しくて見た目も立派な野菜作りには、「土作り」と何をいつ育てるかという「年間作付け計画」が重要です。その重要性和ポイントについてお話し頂きます。10:30~と14:30~。各30分で2回とも同じ内容です。参加費無料。尚水口さんの来園は2月はお休みで、次回は3/8(日)。

3/29(日)「たもんじ交流農園」オープニングセレモニー&ピザ焼きパーティ

3年目を迎えるたもんじ交流農園の完成祝賀パーティ。11:00~14:00。参加費用:2000円/人(食事・飲み物付き)ただし、農園会員2名様までは、無料ご招待。



たもんじ交流農園便り
 No.22-般 2020.1.20 発行
 題字 田村風来門
 編集 末林和之

てらたま協議会 (NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)

<https://www.facebook.com/teratama/>

問い合わせ先 小川 剛 (080-3421-3115)

セブン-イレブン記念財団

